

# 仏ってなんなん？

-仏さまと歩む暮らし-

## 第4回 お荘厳①

「お荘厳」とは、浄土(仏国土)や仏・菩薩などの美しい姿や飾りのことであり、「お飾り」とも言われています。「荘」も「嚴」もどちらの漢字も「おごそかにきちんと整える」という意味です。「みごとに配置されていること」「美しく飾ること」ということになります。また、「立派で厳かな」という意味の荘嚴(そうごん)という言葉は、仏教用語の荘嚴(しようごん)から派生したものです。荘嚴という言葉は、元来インドのサンスクリット(梵語)ではvyuhaの訳であり、vyuhaを英語に訳すと、view景色・眺めとなることから浄土の景色、または眺めということになります。

お寺の内陣や家庭のお内仏にお飾りやお供え物をするのをただ単にまつる・捧げる・飾るといふ言い方をするのではなく、「お荘厳する」といいます。本来、阿弥陀(無量寿・無量光のはたらき)は色も形も匂いも無いものですが、形に表したご本尊阿弥陀如来(方便法身尊形)を中心としてお荘厳し、お給仕(お世話)することにより、形無き阿弥陀のいのち・願いを感じ取ること、念仏の心に触れていくことが私たちにできることなのです。



▲金沢別院本堂のお荘厳(「報恩講」時)  
報恩講では、鶴亀、香炉、花瓶の三具足(五具足)に、上卓と前卓には打敷をかけ、お華束をご本尊の前に一対お供えし、朱蠟燭(赤)を用い、輪灯の上には瓔珞を吊ってお荘厳します。

### 「仏ってなんなん？」

仏事や名号(南無阿弥陀仏)、仏員の意味など、問われたことはありませんか？  
「仏ってなんなん？」では、毎年6回(予定)にわたり、これまで当たり前にしていたことを学びなおし、「私にとって仏とは何か」を尋ねていきます。

(編集)

## 教区御遠忌法要に向けて、宗祖流罪の路を辿る②

金沢教務所長 高乗敬和

### 吉水禅房



安養寺(吉水禅房跡)

3月13日、真宗本廟(東本願寺)から、親鸞聖人の師・法然上人の吉水禅房跡(一慈円山大乗院安養寺)に歩を進めました。

安養寺は、現在の京都八坂神社と円山公園の奥、東山の中腹に建っています。比叡山を下りた法然上人は、吉水に禅房(草庵)を築きました。安養寺は、後に慈円(慈鎮和尚)によって建てられたものです。「吉水」という地名は、東山が濡えた清らかな水が湧き出たことによるものです。

親鸞聖人は、建仁元年(1200)29歳の時から、承元元年(1207)流罪になるまでの6年間を、ここ吉水で求道されます。吉水教団の様子は、1274年

ころ成立の『黒谷上人語灯録』に少しく記されています。法然上人は、自らの死後の教団の在り方を指示しています。「我が没後二於イテハオノオノ住シオノオノ居シテ会セザラン」とし、また「吉水ノ中ノ房」「吉水ノ東ノ新房」「吉水ノ西ノ旧房」の3棟の房舎が記されています。それぞれの房で暮らして、ひとつの場所であつてはならないというのです。吉水禅房は、現在の安養寺、円山公園、そして知恩院という広大な敷地にあつたことが推測できます。この地で、法然上人は専修念仏の道を広められました。

## ご結婚おめでとう!



♡ 6月13日挙式 ♡  
瀬口 裕基さん・友美さん(旧姓 小谷)

仏前結婚式をしましょう。

お問い合わせ先: 東別院事務所

☎ 26116432

## 東別院聞法会

日時 7月18日(日)

午後2時から5時まで

会場 金沢真宗会館ホール

内容 例会「歎異抄」第十二章

※例会では、お賽銭として500円を集めさせていただきます。

問合せ 金沢別院

☎ 26116432

## 同朋学習会

「正像末和讃」をみんなで読みましょう!

日時 8月19日(木) 午後1時半〜

会場 金沢真宗会館ホール

講師 木越 樹氏

(第11組 光専寺前住職)

講題 親鸞聖人の晩年に聞く

持ち物 念珠・勤行本・真宗聖典

参加費 500円

主催 金沢教区坊守会

## サンガ茶話会

日時 8月5日(木) 午後3時〜

会場 金沢東別院 真宗会館

【毎月第1木曜日】

「いろいろの間」

## 心の相談室

日時 7月24日(土) 午後3時〜

会場 金澤表参道

【毎月第4土曜日】

金沢東別院門前「いちよう館」

問合せ 金沢教務所まで

☎ 26515191